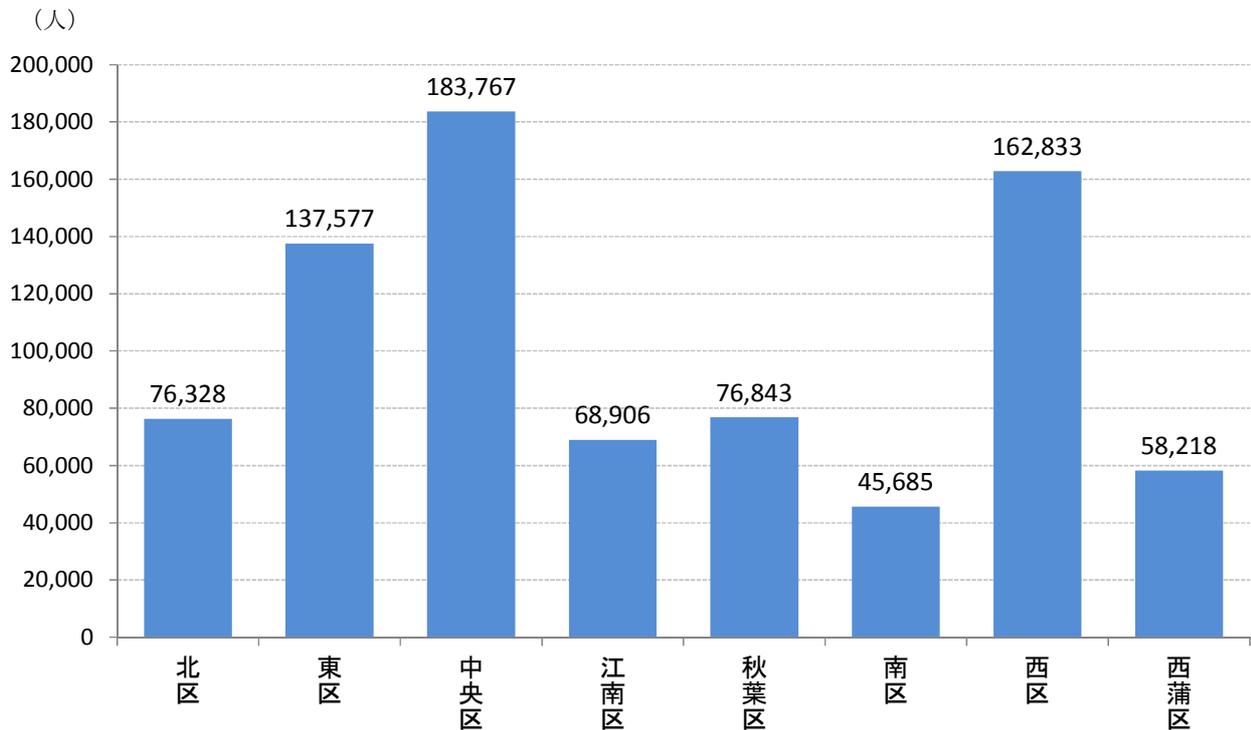
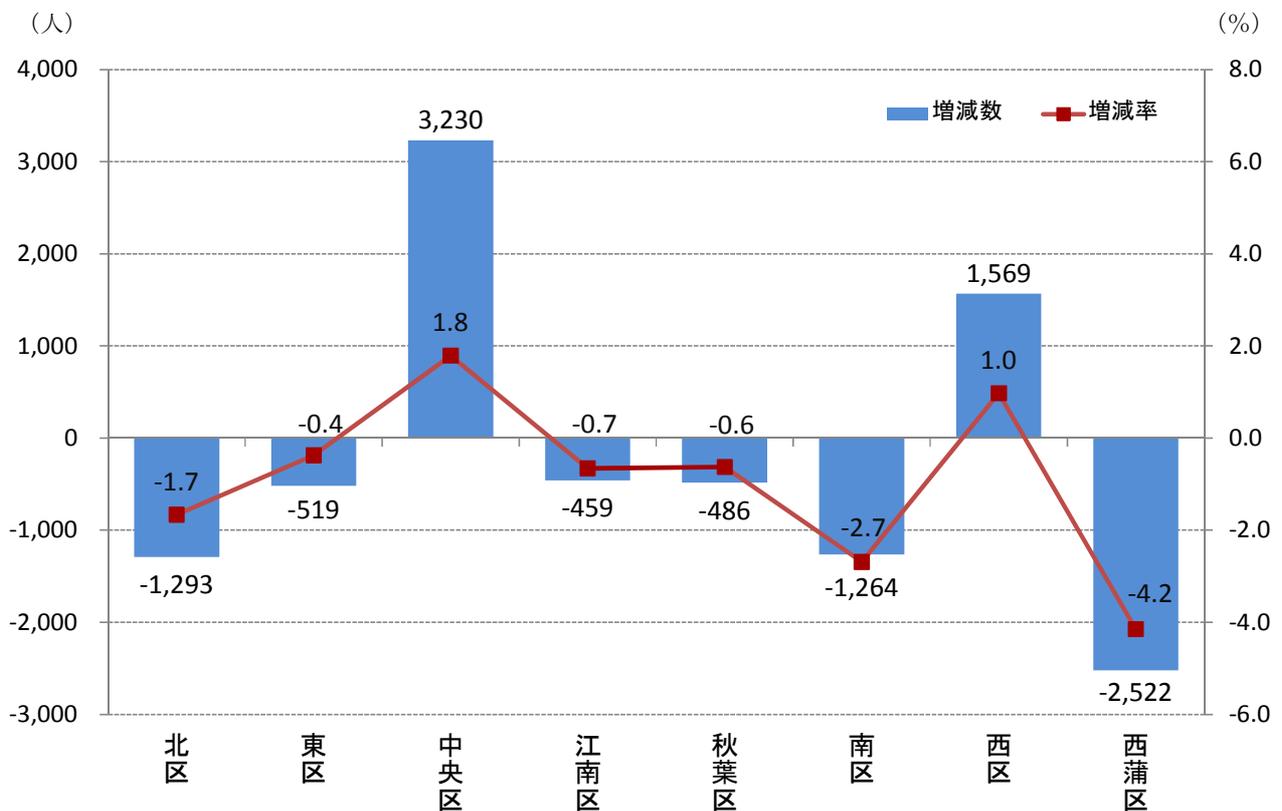


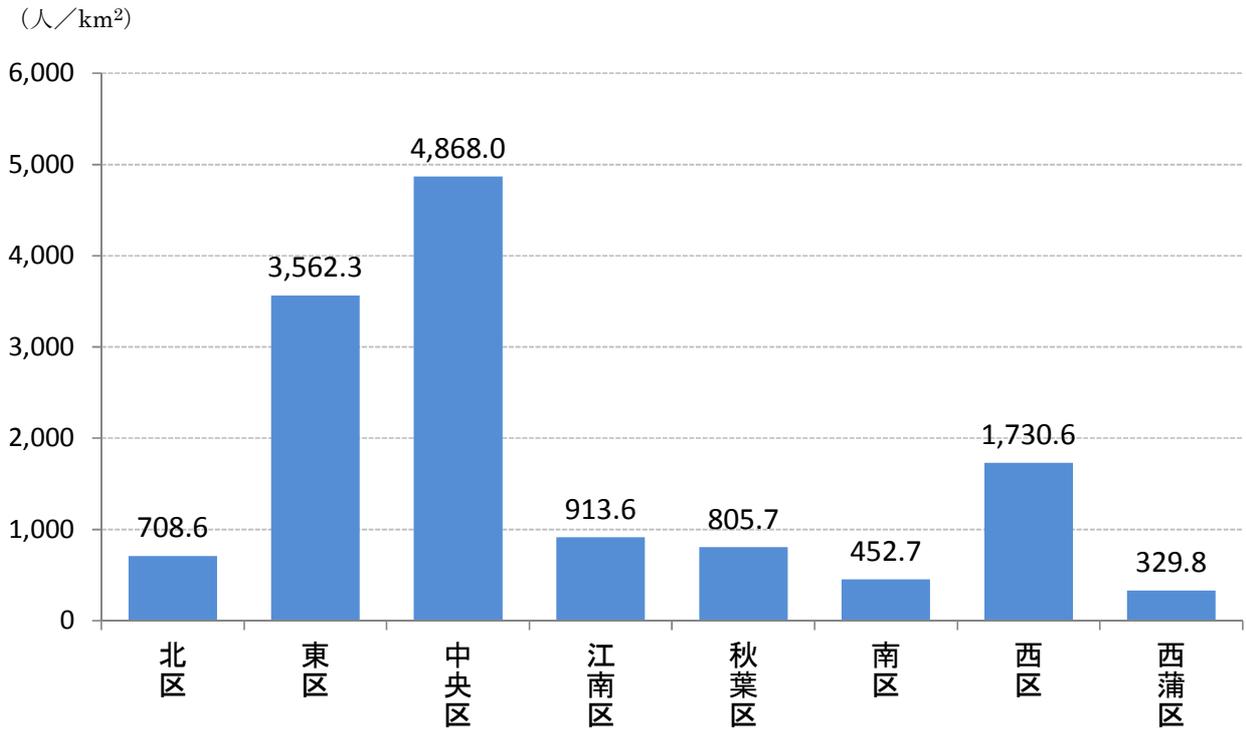
行政区比較①	人口総数	人口が最も多いのは中央区 最も少ないのは南区
--------	------	---------------------------



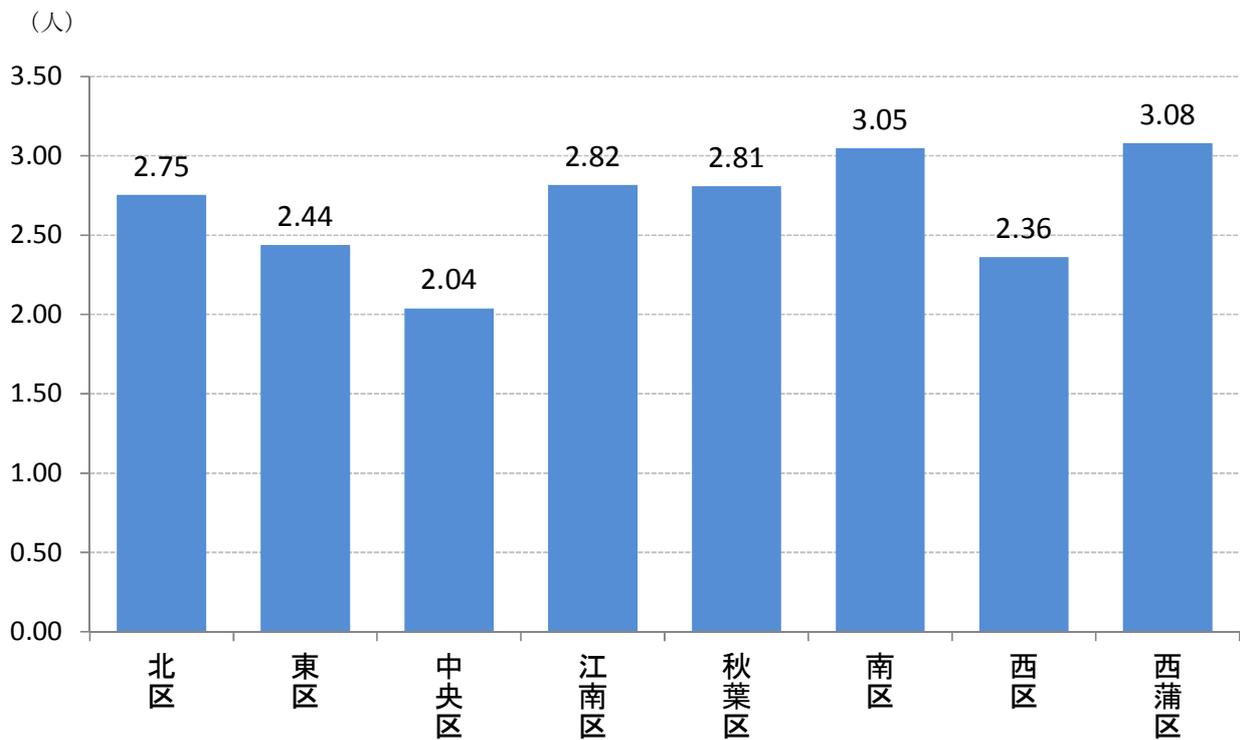
行政区比較②	人口増減数及び増減率 (平成 22 年～平成 27 年)	中央・西区は人口増加 北・東・江南・秋葉・南・西蒲区は人口減少
--------	---------------------------------	------------------------------------



行政区比較③	人口密度	人口密度が最も高いのは中央区 最も低いのは西蒲区
--------	------	-----------------------------



行政区比較④	1世帯当たり人員	1世帯当たりの人員が最も多いのは西蒲区 最も少ないのは中央区
--------	----------	-----------------------------------

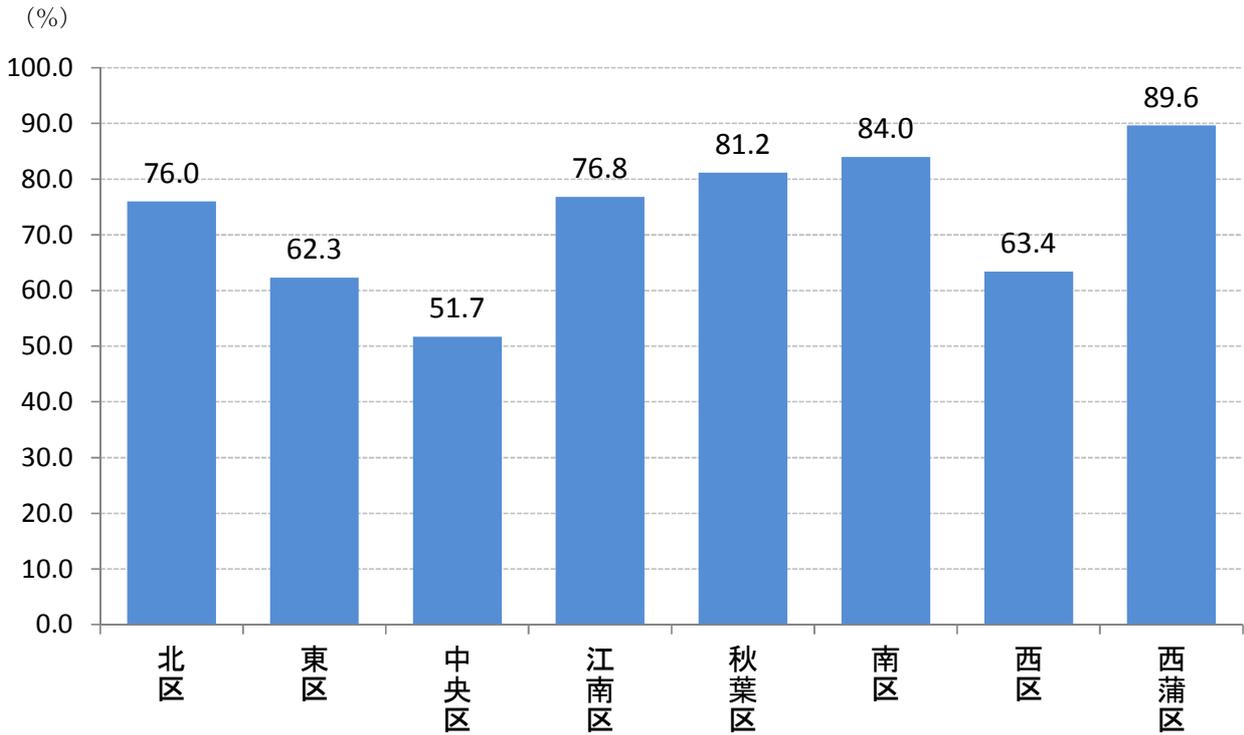


※一般世帯における1世帯当たり人員

行政区比較⑤

持ち家率

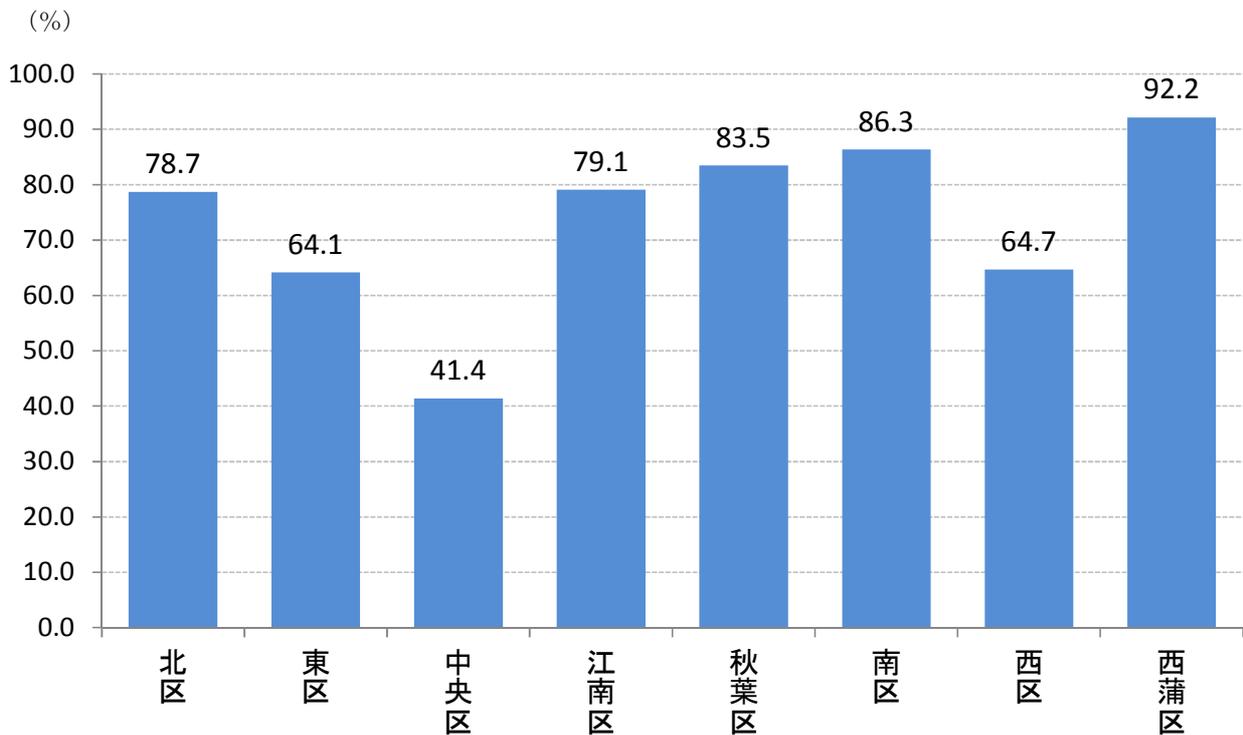
持ち家率が最も高いのは西蒲区
最も低いのは中央区



行政区比較⑥

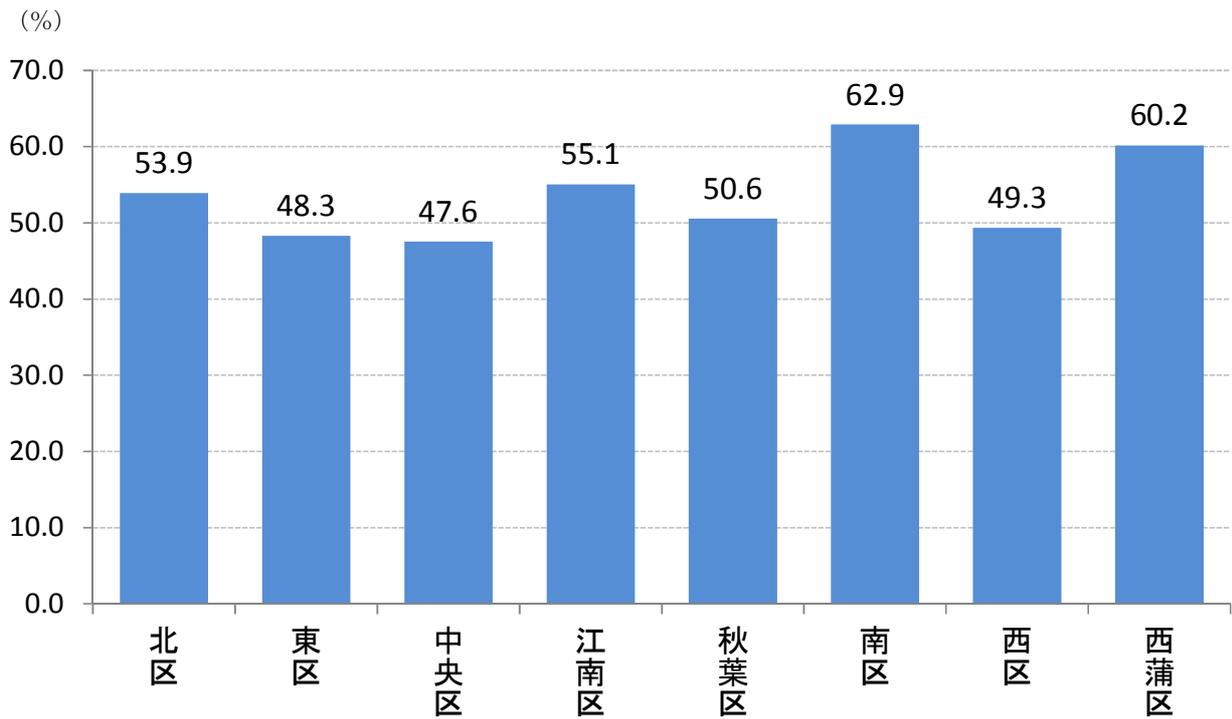
一戸建率

一戸建率が最も高いのは西蒲区
最も低いのは中央区



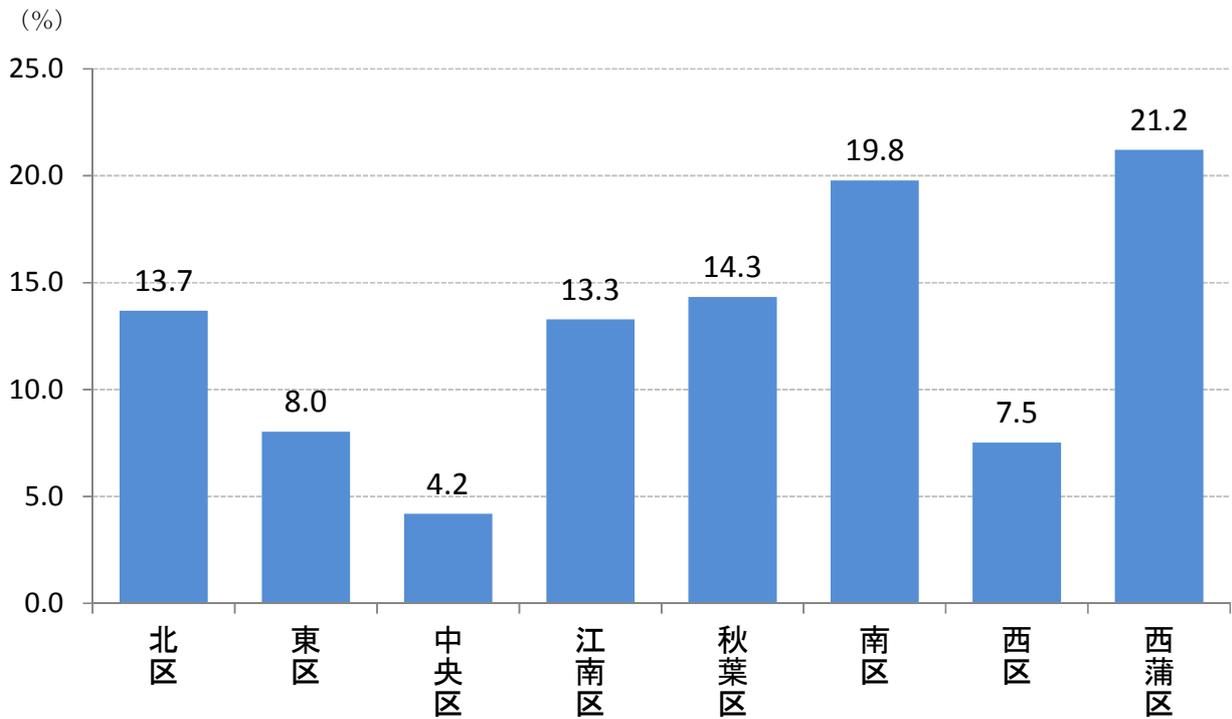
※住宅に住む一般世帯における一戸建率

行政区比較⑦	共働き率	共働き率が最も高いのは南区 最も低いのは中央区
--------	------	----------------------------



※夫婦のいる一般世帯の共働き率

行政区比較⑧	3 世代世帯の割合	3 世代世帯の割合が最も高いのは西蒲区 最も低いのは中央区
--------	-----------	----------------------------------

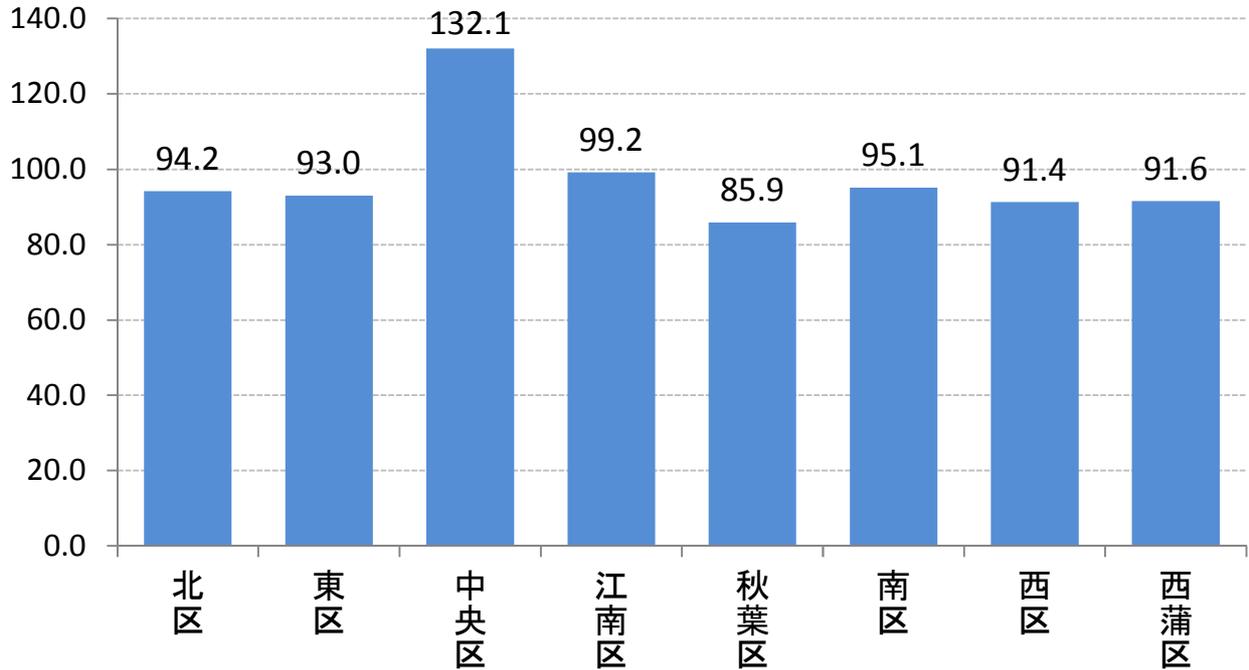


※一般世帯における 3 世代世帯(4 世代以上も含む)の割合

行政区比較⑨

昼夜間人口比率

昼夜間人口比率が最も高いのは中央区
最も低いのは秋葉区

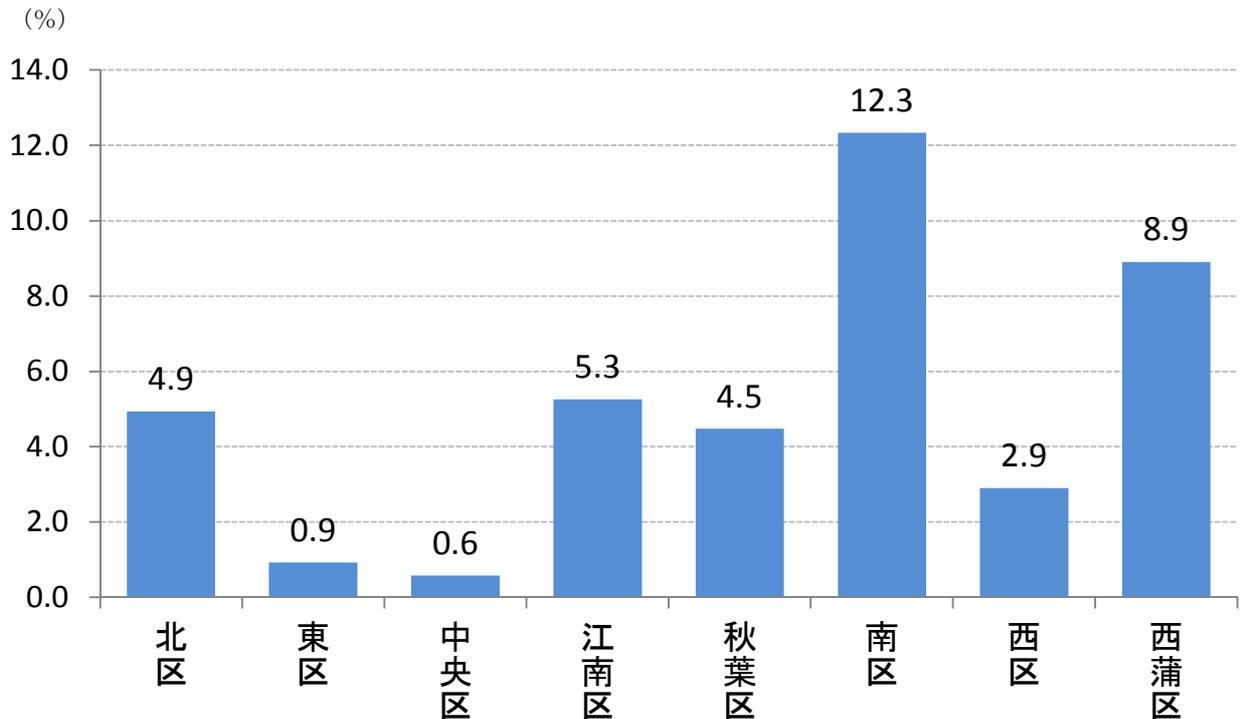


※100 を超えると、昼間人口が常住人口(夜間人口)より多い。

行政区比較⑩

第1次産業就業者の割合

各区における就業者の第1次産業の割合は、南区が最も高い

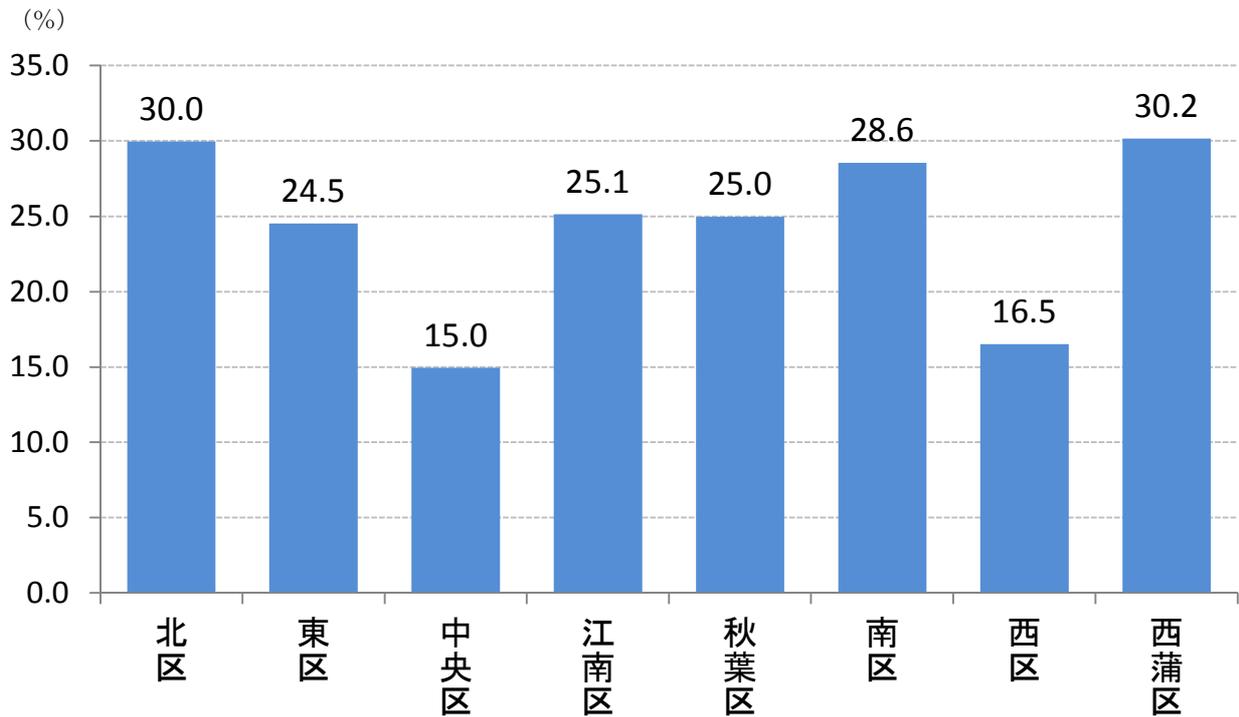


※第1次産業…農業、林業、漁業
産業大分類「分類不能の産業」を除いて算出。

行政区比較⑪

第2次産業就業者の割合

各区における就業者の第2次産業の割合は、西蒲区が最も高く、次いで北区が高い

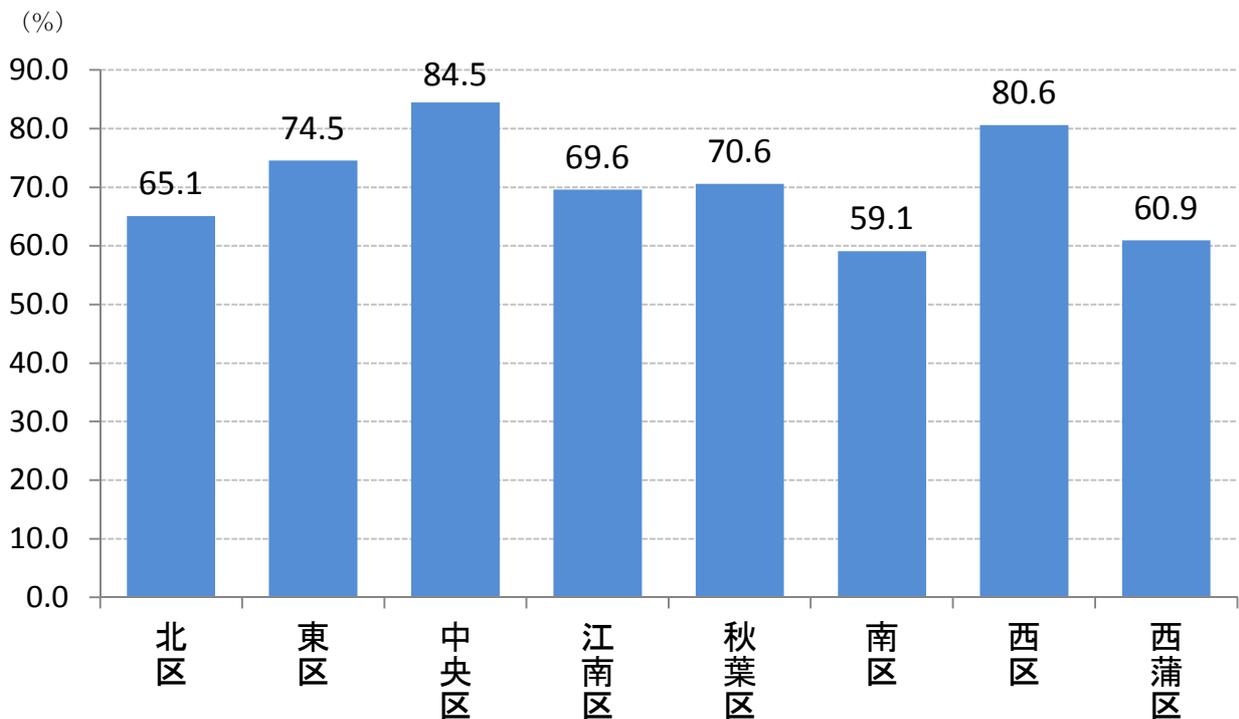


※第2次産業…鉱業、建設業、製造業
産業大分類「分類不能の産業」を除いて算出。

行政区比較⑫

第3次産業就業者の割合

各区における就業者の第3次産業の割合は、中央区が最も高い



※第3次産業…電気・ガス・熱供給・水道業 ～ 公務(他に分類されるものを除く)
産業大分類「分類不能の産業」を除いて算出。